

★大島公園動物園からのお知らせ★

鳥類の展示を再開します

大島公園動物園では、飼育している鳥類への高病原性鳥インフルエンザ感染予防のため、フライングケージ及びインコ舎の一部の鳥類の展示を中止していましたが、1月6日から上記2施設での展示を再開しますのでお知らせいたします。

1. 展示を再開する施設および飼育動物

(1) フライングケージ

ショウジョウトキ、ヨーロッパフラミンゴ、インドクジャク、マガモ、オシドリ、ハワイガン、オナガガモ、アカツクシガモ、カラスバト、マナヅル、パルマワラビーなど

(2) インコ舎

インカアジサシ、ルリコンゴウインコ、ニシムラサキエボシドリなど

(3) ゾウガメ舎

オオハナインコ

2. 展示再開の経緯について

令和3年12月4日に千葉県内で発生した高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認事例を受け、当園では飼育鳥類への感染予防のため鳥類の展示を一部中止するなどの対策を取ってきました。

環境省では、令和3年12月5日（日）に野鳥監視重点区域を指定し、野鳥監視を強化してきましたが、その後、当該区域内において野鳥の大量死等の異常は確認されなかったため、指定は解除(令和4年1月4日同省発表)となりました。これを受け、当園における鳥類の展示を再開する運びとなりました。



フライングケージのヨーロッパフラミンゴ